



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第17号

発行 / 2007年9月15日
特定医療法人社団 鵬友会
発行責任者 /
事務局長 池島 守



ほうゆう病院院長に就任して

ほうゆう病院 院長 小阪 憲司

藤澤前病院長（名誉院長）の熱烈なラブコールを受け、7月1日からほうゆう病院院長に就任しました。

ほうゆう病院を開院するという事で、横浜市大の教授の当時、池島事務局長、相澤事務長、藤澤院長が挨拶にみえ、サポートのお約束を覚えています。それから6年が経ち、認知症専門のほうゆう病院は着々と基礎を積み上げ、藤澤先生を始め、みなさんの協力のお陰で立派な病院に発展し、引き継ぐことになりました。現役から引退して自由な身で好きなことをしながら、好きな臨床活動をのんびりとすることにしていたので、最初はあまり乗り気ではありませんでした。神経病理学の先輩で私の30年来の親しい知人である藤澤先生からの熱心な働きかけでお引き受けいただきました。引き受けるからにはさらに良い病院にしたい。着任早々、院長所信表明の際に「この病院はどうあるべきか」というテーマでお話ししたが、思いつくままに十項目を挙げたので、それを紹介して私のご挨拶に代えたいと思います。

ほうゆう病院は「認知症専門の精神科病院である」という特徴を全面に出し、「特徴のある日本一の認知症専門の精神科病院にする」という大きな目標を掲げました。

- 1) ホームページの充実：「認知症専門病院」をアピールし、ここにほうゆう病院ありということを全国に知らせる。ほうゆう病院という病院は、他にもいくつかあるので「横浜ほうゆう病院」という病院名にしたい。
- 2) 外来診療の充実：まず「物忘れ外来」をホームページでも宣伝する。また外来診察室の改造が必要であり臨床心理士を非常勤で置く。臨床治験を行なえるシステムを作る。さらに、あしたばメンタルクリニックと

の連携を密に、機能分担し、クリニック間との患者の搬送サービスを行なう。またデイケアの推進と患者の担当医の責任体制を整備する。

- 3) 病棟の機能分担化：軽度の認知症者やり八中心の病棟をつくり、ショートステイの受け入れ、さらに横浜市の認知症者緊急入院制度の導入をおこなう。
- 4) チーム医療の充実：医師・看護師・介護士・PSW・OT・薬剤師・事務員などからなるチーム医療を進める。それぞれが対等で家族もメンバーの一員とする。また、各病棟に家族会を発足させる。
- 5) 新しい医療・看護・介護法の導入：タクティール・ケアをはじめ、スウェーデンのシルビアホームの理念やセンター方式、回想法・散歩療法など。
- 6) 医療レベルの向上：優秀なスタッフを集め、学会や研修会への参加を推奨し、講演会や研究報告会・症例検討会を開催し、外の施設との交流を促進する。
- 7) 医療経営についての関心と配慮：認知症医療はきびしい方向で、職員が医療経済を勉強し改善に努める必要がある。また、後発品の導入、合理的な医療・介護品の導入を！
- 8) 地域との交流：地域の各機関・施設と連携し、また講演会などを通して病院を地域に開放する。
- 9) 職員を大事にする：もっとも大事な理念で、誇りを持って仕事ができる環境づくりを！
- 10) 将来的にはコンピューターの導入と外部評価機構への参加：時間をかけて準備していくことが必要で当面の目標とする。

以上、十項目は就任直後の所信で、現状をまだ把握していない段階での夢のようなところもあり、まだぬけている事もあると思うが、就任して1ヶ月もしない時期の話である。最初に気づいたことは結構大事なことが多く、マンネリ化しないうちに伝えたい。

湘南泉病院に

新しくマルチスライス

CT

が入りました！

～ エコノミー症候群の皮下脂肪測定、
細かい病変が発見できる！！ ～

湘南泉病院 放射線科医師

専門科目：放射線診断学

所属学会：日本医学放射線学会

服部 文夫



CTが我が国に導入されて早や30年になります。技術向上が著しく、シングルスライスからマルチスライスCTに変わってきました。当院も本年4月、16列マルチスライスCTを導入し診療に協力しています。このCTの利点は患者様の立場でみると次の5点になります。

1. 撮影時間の短縮化：今までは息止めを長い時間もしくは数回していたものが、短時間又は1回の息止めで撮影できる。
2. 多方向断面撮影：従来の輪切り像に加えて、縦・横・斜めの断面像の撮影が可能で、あらゆる方向からの観察が出来る。
3. 3次元画像：簡単にきれいな3次元画像が、撮影出来る。
4. 管腔内の診断：血管や気管支の内腔を内視鏡で覗いたような鮮明な画像が撮影。
5. 放射線被爆線量が少ない。一回の検査で多くの画像が得られ、検査時間が短縮できます。

このように優れたCTですので、従来のレントゲン等で発見出来なかった細かい病変を見つけられます。子供さん、ご高齢の方々には苦痛なく、短時間で検査され、病気の早期発見、早期治療に大変適していると思います。また、最近話題になっているエコノミー症候群の皮下脂肪測定も簡単に出来ますので、当院のCTを是非御利用できるようおすすめします。



阿久和鳳荘 納涼祭！

特定医療法人社団鵬友会 介護老人保健施設 阿久和鳳荘
事務長 前沢 恒一

毎年恒例の阿久和鳳荘納涼祭が去る8月26日（日）午後5時から、湘南泉病院の駐車場をお借りして開催いたしました。

当日は、当施設職員が所属する和太鼓団体による演奏、盆踊り、屋台、そしてどなたでも参加自由な流し素麺と盛りだくさん。酷暑に見舞われた今年、天候にも恵まれ、約1時間30分という短い時間でしたが、爽やかな風の中で、ご利用者様ご家族様に楽しんでいただけたと感じています。

来年もご期待ください。

